

保険業における動作の反動無理な動作災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	11~12	自席にて外出準備を終え、カバン等を持って、外へ向かう途中に、事務所内で右足を捻ってしまった。その直後に痛みがあったため、入口近くのイスにて休憩した。発生現場には、特に障害物はなかった。	52	100~299
2	16~17	書類を両手で持ち席を立てて振り返ったところ、後方にあった椅子のキャスターに足が引っ掛かりバランスを崩し腰を捻った。激しい痛みはあったもののそのまま帰宅し、翌日、痛みはより激しくなり右足に激痛がはしり歩行困難となった。	52	—
4	16~17	お客様勤務先訪問のため、オフィスの階段を2階から1階へ急いで下りていたところ、段差を踏み外してバランスを崩し、左足を捻ってその場に座り込んだ（左足首捻挫、左足甲骨折、両脛打撲）。当日は、お客様と急に約束が取れたため急いでいた。	44	30~49
5	10~11	営業所内のレイアウト変更のため自席の机を持ち上げて運んでいる途中で腰をひねった。当初はぎっくり腰と診断されたが、激痛が残り、後日に圧迫骨折と診断された。	60	10~29
5	14~15	お客様主催のバレーボール大会に接待で出場した。体育館内での試合に出場中にレシーブをしようと踏み込んだところ、アキレス腱を断裂した。	46	30~49
7	11~12	お客様宅へバスで訪問途中で営業所で乗り換えのためバスを降りようと立ち上ったところ左足を捻ってしまい受傷してしまった。	69	50~99
	13~	休憩時間に給水のため移動中、スーパー施設内の建物外にある配管（高さ50cm		500

7	14	程) を乗り越える際、着地を踏み外し、左足関節外側靭帯断裂を負った。	25	～ 999
7	16～ 17	担当機械に向かう途中の段差で右足を捻った。	24	10 ～ 29
7	11～ 12	お客様宅へ契約の提案で訪問し、1時間程説明し、辞去する際に足がしびれて感覚がなくなっていたため、立ちあがったときに足首を捻って左側に倒れ、骨折した。	23	100 ～ 299
9	14～ 15	顧客宅を出て自車に乗車しようと歩行中、段差でバランスを崩した際、転倒を避けるため左足で踏ん張ったことで足首を負傷し靭帯が痛み、左踵立方関節を捻挫し負傷する。	49	100 ～ 299
9	12～ 13	支社と組合の合同研修があり、その後組合行事に移り、ビーチバレーボールの競技中、ジャンプの着地時に足をひねり転倒した。	43	10 ～ 29
10	10～ 11	約束のお客様訪問に向かうため、外出しようとした際の事故。オフィス出入り口付近で同僚に声を掛けられたので立ち話をした後、ドアを閉めようとしたところ、出入り口にある20センチほどの段差で左足首を捻った。傷病部位は左足首の靭帯損傷。	60	300 ～ 499
10	16～ 17	お客様宅から退出する際の事故。お宅の駐車場に停めた車に向かうため、門扉を閉めて体の向きを変え歩き出そうとしたところ、バランスを崩して右足を捻った。当日は痛みがあり、湿布で冷やしたりサポーターをして様子を見ていた。業務が忙しく受診できずにいたが、痛みが増してきた。右足首捻挫。	57	10 ～ 29
11	11～ 12	足が痛い状態が続き、年末あたりから動くことが多く、かなりの量を歩き、足は痛かったが筋肉痛と思い放置した。年末に歩行困難な状況となり、診察してもらった。	52	500 ～ 999

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html